

# 地域再生 2単位

担当教員:雨森 孝悦

福祉社会の維持発展のために必要なことを、人口、雇用、人のつながりを含めた広い視野からとらえる

## 講義目的・到達目標

### 地域衰退の実態と将来見通しを把握する

地域の衰退は今や中山間部など条件不利地に限られない。高齢化の進展とともに、大都市部でも見られる。一過性のものではなく、構造的な原因をもつため、今後さらに大きな問題となり、福祉社会の脅威となる。そのことを冷静に受け止め、理解するのが再生のための第一歩である。

### 地域再生について創造的に考える

各地の先進的な取り組みやゲスト講師の経験から学び、既存の枠を超えて考えられるようになる。

## 講義の構成

### 講義の流れ

最初に、なぜ地域再生が必要なのかという理由を、客観的なデータをもとに学ぶ。次に、都市部や中山間部など地域性に応じた課題とその克服について学習する。グループ学習では、地域の課題解決に向けたファシリテーション技法を、ワークショップで各自が経験する。2日目はさらに視野を広げて、地域の基幹産業である農業やグローバルな経済との関連で地域の再生について考える。その後、自分たちにできることについて討論し、持ち帰る。

1 どういう課題があるか

2 なぜ、問題が生じているか

3 どうしたらよいか

4 自分たちに何ができるか

### 講義のポイント

高齢化と人口減少が続くと予測される日本で、福祉社会を今後も持続可能にするためには、財源の開発や雇用の確保、助け合いの進展などが重要となる。そのために何が必要かを、クリエイティブに考えるためのスクーリングである。

## 受講するにあたって

- ①事前学習の  
すすめ 参考図書を事前に読んでおくとう理解が進むので、できるだけ読んでおく。
- ②参考図書 増田寛也『地方消滅 東京一極集中が招く人口急減』中公新書、2014  
藻谷浩介・NHK広島取材班『里山資本主義—日本経済は「安心の原理で動く」』角川書店、2013  
松永桂子『創造的地域社会—中国山地に学ぶ超高齢社会の自立』新評論、2012  
山崎亮『コミュニティデザイン 人がつながるしくみをつくる』学芸出版社、2011
- ③評価基準 記述式で2題、出題の予定。すべての設問に的をはずさず答えていること、たんなる感想ではないこと、自分に引き付けて感想を述べている場合は、よく考えられており次につながるような解答であること。
- ④より学びを  
深めるために スクーリングのなかで、さらに文献を紹介する。